



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社高松コンストラクショングループ
 コード番号 1762 URL <https://www.takamatsu-cg.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)吉武 宣彦
 問合せ先責任者 (役職名)常務執行役員グループ統括本部長 (氏名)井筒 廣之 (TEL) 06-6303-8101
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 平成29年12月12日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 (アナリスト向け)
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績 (平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	112,022	12.6	5,419	△9.9	5,410	△10.2	2,810	△10.6
29年3月期第2四半期	99,495	5.3	6,016	48.9	6,027	47.6	3,144	17.9

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 3,531百万円 (△1.1%) 29年3月期第2四半期 3,571百万円 (14.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	78.24	—
29年3月期第2四半期	87.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	174,839	110,864	55.4
29年3月期	180,927	110,555	53.2

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 96,874百万円 29年3月期 96,310百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	15.00	—	28.00	43.00
30年3月期	—	20.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	33.00	53.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

30年3月期(予想)の期末配当金の内訳 普通配当 23円00銭 記念配当 10円00銭

3. 平成30年3月期の連結業績予想 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	受注高		売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	260,000	1.4	240,000	12.1	13,300	2.8	13,300	2.8	7,300	10.7	203.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	38,880,000株	29年3月期	38,880,000株
30年3月期2Q	3,461,303株	29年3月期	2,861,003株
30年3月期2Q	35,918,947株	29年3月期2Q	36,018,997株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は監査法人による四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている将来に関する記述は、発表日現在で入手可能な情報にもとづいて作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって異なる可能性があります。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
3. 補足情報	7
連結受注高・連結売上高の状況	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善により、穏やかな成長基調が継続しました。一方、国内建設市場は、民間投資は微増ながら、公共投資は前年同期に大規模案件が目立ったことの影響もあり前年度比でマイナスとなり、全体としてもマイナスとなりましたが、今後2～3年の建設市場は高原状態の継続が予想されています。

このような状況のなか、本年10月に創業100周年を迎えた当社グループは、その記念すべき100周年をスタート年度とする新中期経営計画「TRY! NEXT CENTURY 2020」を策定し、「チャレンジ2680」をキーワードに、2020年3月期の売上高2,680億円を目指し、「スペシャリティ18α」のもと、特徴ある当社グループ事業会社18社のさらなる成長および積極的なM&Aの実施により、事業の拡大をはかります。そして「クオリティ150」を掲げ、高品質で高効率な施工を維持・向上しつつ、2020年3月期に営業利益150億円の達成を目指します。本年度は、この中期経営計画の達成に向け、当社のグループ中核会社のひとつである高松建設は好調を維持する首都圏の土地有効活用を中心に事業拡大をはかり、グループ全体の成長を牽引する計画です。もう一方の中核会社である青木あすなろ建設は堅実な成長と高利益率の持続を目指します。またグループ全体の経営基盤強化策として、グループ力の最大化、人材育成の推進、グループガバナンスの向上、資本政策の推進などを進めてまいります。

その結果、当第2四半期連結累計期間の受注高は130,009百万円（前年同期比6.7%減）となったものの、売上高は112,022百万円（前年同期比12.6%増）となり、売上高は6期連続増収、4期連続過去最高となりました。

利益につきましては、前年同期に高採算建築案件の完工が多かった反動減もあり、営業利益は5,419百万円（前年同期比9.9%減）、経常利益は5,410百万円（前年同期比10.2%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に比べ10.6%減の2,810百万円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

なお、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっており、本社管理費等の調整額△1,508百万円は外数となっております。

(建築事業)

受注高は64,725百万円（前年同期比8.9%減）、完成工事高は55,280百万円（前年同期比8.6%増）となりましたが、セグメント利益は前年同期の高採算案件の反動減があり前年同期比25.1%減の3,757百万円となりました。

(土木事業)

受注高は58,750百万円（前年同期比5.5%減）、完成工事高は50,208百万円（前年同期比17.9%増）となり、セグメント利益は2,848百万円（前年同期比42.8%増）となりました。

(不動産事業)

不動産の売買および賃貸等による売上高は6,532百万円（前年同期比8.2%増）となり、セグメント利益は322百万円（前年同期比39.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ6,087百万円減少し、174,839百万円となりました。

その主な要因は、受取手形・完成工事未収入金等が4,756百万円、現金預金が2,544百万円減少したことによるものです。

(負債の部)

負債は、前連結会計年度末に比べ6,395百万円減少し、63,975百万円となりました。

その主な要因は、未払法人税等が1,772百万円、工事未払金が1,768百万円、その他流動負債中の未払金が1,190百万円、未成工事受入金が1,006百万円減少したことによるものです。

(純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末に比べ308百万円増加し、110,864百万円となりました。

その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益2,810百万円の計上や配当金の支払1,008百万円に伴う利益剰余金の1,801百万円の増加や、自己株式の取得1,508百万円による減少によるものです。

以上の結果、純資産の額から非支配株主持分を控除した自己資本の額は96,874百万円となり、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.2ポイント増加し55.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2017年5月11日付で公表いたしました数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	77,396	74,851
受取手形・完成工事未収入金等	60,255	55,498
販売用不動産	7,177	7,727
未成工事支出金	1,143	1,054
不動産事業支出金	3,327	3,670
未収入金	6,242	4,247
繰延税金資産	1,564	1,428
その他	1,069	1,851
貸倒引当金	△381	△358
流動資産合計	157,794	149,972
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	2,454	2,514
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	821	1,107
船舶（純額）	651	1,688
土地	8,961	9,016
リース資産（純額）	179	169
建設仮勘定	555	614
有形固定資産合計	13,623	15,110
無形固定資産	302	390
投資その他の資産		
投資有価証券	5,692	6,009
繰延税金資産	1,227	1,109
その他	3,188	3,144
貸倒引当金	△902	△897
投資その他の資産合計	9,206	9,366
固定資産合計	23,132	24,867
資産合計	180,927	174,839

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
負債の部		
流動負債		
工事未払金	29,710	27,941
未払法人税等	3,527	1,755
未成工事受入金	12,961	11,955
完成工事補償引当金	767	764
工事損失引当金	58	120
賞与引当金	2,846	2,992
災害損失引当金	385	443
その他	7,366	5,610
流動負債合計	57,624	51,583
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	256	256
繰延税金負債	264	262
船舶特別修繕引当金	91	79
退職給付に係る負債	10,667	10,352
その他	1,466	1,441
固定負債合計	12,747	12,392
負債合計	70,371	63,975
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	271	351
利益剰余金	95,860	97,661
自己株式	△4,296	△5,805
株主資本合計	96,835	97,208
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,010	1,103
土地再評価差額金	△1,266	△1,266
退職給付に係る調整累計額	△267	△170
その他の包括利益累計額合計	△524	△333
非支配株主持分	14,245	13,990
純資産合計	110,555	110,864
負債純資産合計	180,927	174,839

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)
売上高		
完成工事高	93,455	105,489
不動産事業売上高	6,039	6,532
売上高合計	99,495	112,022
売上原価		
完成工事原価	79,415	91,060
不動産事業売上原価	5,345	5,984
売上原価合計	84,760	97,044
売上総利益		
完成工事総利益	14,040	14,429
不動産事業総利益	694	548
売上総利益合計	14,734	14,977
販売費及び一般管理費	8,717	9,557
営業利益	6,016	5,419
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	51	59
受取賃貸料	16	24
その他	31	19
営業外収益合計	99	104
営業外費用		
支払利息	84	93
その他	3	20
営業外費用合計	87	114
経常利益	6,027	5,410
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	42	5
特別利益合計	42	5
特別損失		
訴訟関連損失	121	52
減損損失	0	—
災害による損失	—	126
その他	0	8
特別損失合計	122	188
税金等調整前四半期純利益	5,947	5,227
法人税、住民税及び事業税	1,991	1,754
法人税等調整額	253	188
法人税等合計	2,244	1,942
四半期純利益	3,702	3,284
非支配株主に帰属する四半期純利益	558	474
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,144	2,810

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)
四半期純利益	3,702	3,284
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△243	123
退職給付に係る調整額	112	123
その他の包括利益合計	△131	246
四半期包括利益	3,571	3,531
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,007	3,000
非支配株主に係る四半期包括利益	563	531

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2017年7月19日開催の取締役会決議にもとづき、自己株式600,300株の取得をおこなっております。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が1,508百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が5,805百万円となっております。

3. 補足情報

連結受注高・連結売上高の状況

区分		前第2四半期累計 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)		当第2四半期累計 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)		増減	
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
受 注 高	建築事業	71,083	51.1	64,725	49.8	△6,357	△8.9
	土木事業	62,156	44.6	58,750	45.2	△3,405	△5.5
	建設事業計	133,239	95.7	123,476	95.0	△9,763	△7.3
	不動産事業	6,039	4.3	6,533	5.0	493	8.2
	合計	139,278	100.0	130,009	100.0	△9,269	△6.7
売 上 高	建築事業	50,882	51.1	55,280	49.4	4,398	8.6
	土木事業	42,573	42.8	50,208	44.8	7,635	17.9
	建設事業計	93,455	93.9	105,489	94.2	12,033	12.9
	不動産事業	6,039	6.1	6,532	5.8	493	8.2
	合計	99,495	100.0	112,022	100.0	12,527	12.6